

平成31年度学校運営協議会 委員からの意見

<第1回> 6月25日(火)

○平成31年度学校経営計画について

- ・「探求心をもって主体的に学ぶ力の育成」を推進することは評価できるが、何事もテーマに関して「事前学習」をすることが重要であり、その点を意識させるべきである。
- ・探求的な学習を実践する際に、「企画書」や「報告書」を書かせることで、本校の特徴である行事や部活動の取組みと学力の向上がリンクすると思われる。
- ・様々な取組みを実施する際、「働き方改革」の観点を忘れないようにしてもらいたい。教科を超えた『チーム布施』といったコンセプトや外部の力を借りる工夫をすべきである。

○生徒指導・進路指導(キャリア教育)について

- ・遅刻を減らすためには、遅刻がなぜいけないのかを生徒に認識させることが肝要である。
- ・キャリア教育では、親や先生以外の大人と触れ合う取組みを進めてもらいたい。

<第2回> 11月7日(木)

○令和元年度学校経営計画の進捗について

- ・教育活動を実施するにあたり、地域住民・保護者・教員OBやキャリアコーディネータなど専門家の力を借り、教員の負担を軽減しながら効率的に進めてもらいたい。
- ・学習については、「学ぶ動機付け」が重要であり、生活情報などのデータと成績との相関を駆使させる必要がある。また、振り返りを行う機会を設け、習慣づけることが大事。

<第3回> 2月20日(木)

○自己評価に関する評価

- ・生徒及び保護者の学校生活全般に対する満足度が9割近くあることや、授業に関するアンケート結果がほとんどの項目で改善されていることは非常に評価できることであり、教職員が努力されている結果だと思う。
- ・Webページに関する評価が低いことを受けリニューアルすることだが、その際は閲覧者のニーズを把握するとともに、生徒が作成に直接関与することが大切。
- ・読解力の向上のための取組みや図書室の充実を推進していただきたい。